

公益社団法人出雲法人会優秀賞

「税の必要性」

出雲市立平田中学校 三年 河原 美佳

私は今まで、税について深く考えたことはありませんでした。ただ、物を買う時、少し高くなるだけだと思っていました。なんで少し高くなるのか分からなかったし、そのお金はどこに行くのかも分かりませんでした。ですが、私が思っていたその税がどれだけ必要なのか分かる出来事がありました。

私の家の近くに、消防車が来たことがありました。火事ではありませんでしたが、私は疑問に思ったことがありました。消防車や警察を呼んでもお金を払わなくてもいいことですか。消防士の方や警察官の方も働いているのに、私達は誰もお金を払いません。疑問に思い、父に聞いてみるよ



消防士や警察官の方たちは公務員と言って、その方たちのお給料は税金で払われていると教えてもらいました。私は税金が他にどのようなことに使われているのか気になって調べてみました。税金の役割は主に3つあり、公共サービス・公共施設の提供、所得の調整、景気の調整に分かれることを知りました。公共サービス・公共施設の提供は私が疑問に思っていた、警察、消防、医療、教育のような民間部門

だけでは不十分な財貨やサービスを確認する役割を持っていて、買物をする時、誰でも払う消費税や、個人や会社の利益に対して課税される所得税など、その他にもたくさん種類があることを知りました。その中でも税の使われ方に気になったものがありました。

それは、65歳以上の方に払われる年金です。今は、一人の年金を1.9人で支えています。2000年は一人を36人で支えており、少子高齢化の影響を受けています。また、2050年には一人を1.3人で支えることが予想されています。そして、少子高齢化に対応し、消費税率がだんだんと引き上げられ、5%から6%へ、8%から10%へと引き上げられています。私は税について詳しく知って、いかに税が必要なものかを知りました。私が通う学校で使っている教科書も全て税で支えられています。また、国民一人一人が平等に税を納めることで、誰かだけが税が重いと感じることはありません。そして何より、税を納めているからこそ、義務教育が受けられたり、高齢者の暮らしが支えられたりみんなが豊かである安全な暮らしが出来ています。安全な暮らしが出来ています。税について知ると、少子高齢化のような社会問題についてもつなげて知ることが出来ます。まだまだ知らないことがたくさんあるので、もっと調べて税の必要性を理解したいです。